



生物多様性交流フェア

環境ボランティアサークル亀の子隊

代表 鈴木吉春さん

10月23日(土)・24日(日)に白鳥公園(名古屋市)で開催された、COP10「生物多様性交流フェア」にブースを出展してきました。

今回は「生物多様性」というテーマに合わせて、「海から考えよう〜生物多様性」と題して、メッセージを首から下げたスナメリの模型をつりました。そして、これまで「西の浜クリーンアップ活動」の際に見つけたスナメリや海鳥、カメの死体などの写真をパネルで紹介しました。

ブースを訪れた方たちは2日間で約400人。子ども向けの「海の生き物立体工作教室」が大人気で、2日間で70人を超える子どもたちがお面を作っていました。

このCOP10を通じて、「生き物が安心して生きていける海にしたい」「きれいな海を守りたい」という亀の子隊の思いが広がっていくようで、うれしい2日間でした。



福江のお祭り

福江市民館さん



▲町内5組の山車が集結

毎年、10月の第2日曜日

から3日間、わたり開催される福江の秋葉神社と島神社の大祭。この祭りの始まりは、享保13年の古文書『秋葉大権現造営之記』に、「島村地先(現福江町)の入江の沖に伸びる洲崎が、元和7年、

激しい風波によって切れ、入江の中に流れ込む海流が変わり、崖崩れがひどくなった。それを防ぐために正徳4年、秋葉神社を造ったことから」と記されています。

祭りの見どころは、余興として町内5組が、山車を引きながら祭り囃子や手踊りなどを披露し、島神社までを巡行するところ。原組、澤組、紺屋組、新宅組は毎年趣向を凝らした手作りの人形(張りぼて)を載せた



▲華やかに舞う親子ら



親子の絆 騎馬戦

中山保育園さん

山車、下地組は彫刻が美しい伝統のある山車が特徴です。この山車の引き回しで特に圧巻なのは、急傾斜の坂道を一気に上り詰める場面です。各組の誇りと威信をかけて行う祭りには、「岸和田だんじり祭」をほうふつさせる熱気と心意気を感じられます。

10月7日(木)、家族運動会を開催しました。かけっこや玉入れなど種目はたくさんありますが、中山保育園ならではの種目は騎馬戦です。



▲紅組と白組に分かれて競います

これは、お父さんやお母さん、家族の方などが、年長園児をおんぶして、帽子取りを行う競技です。二人の息をピッタリ合わせて、一生懸命に追いかけて。2回戦が終わるころには、おんぶをしている皆さんはヘトヘトでしたが、園児たちはとてもいい笑顔をしていました。

ぜひ皆さんの、身近な話題についてご投稿ください。

▼田原市役所 政策推進部広報秘書課

〒441-3492 (住所不要)

☎22局01380 FAX22局16901

✉koho@city.tahara.aichi.jp